

登録継手工法の輪荷重走行疲労試験条件

対象継手工法	Trunc-head工法
試験場所	一般社団法人 日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所
床版の設計条件	
・設計活荷重	100kN
・設計活荷重の備考	T荷重の片側荷重
・床版支間	3,000mm
・床版支間方向構造	PC
・橋軸方向構造	RC
・コンクリートの設計基準強度	50N/mm ²
供試体の諸元	
・橋軸方向長さ×床版支間方向幅×版厚	8,450×4,000×220mm プレキャストPC床版4枚(接合部場所打ち)
・橋軸方向鉄筋上段	D19@150mm
・橋軸方向鉄筋下段	D19@150mm
・床版支間方向鉄筋上段	D13@125mm
・床版支間方向鉄筋下段	D13@125mm
・床版支間方向PC鋼材上段	1S15.2@250mm
・床版支間方向PC鋼材下段	1S15.2@250mm
試験条件	
・床版支間	3,000mm
・橋軸方向支持	単純支持(鉛直方向は拘束)
・床版支間方向支持	支持なし
・輪荷重載荷方法	鋼製車輪(1輪)+載荷ブロック(500×200mm)
・輪荷重走行距離	±1,500mm
・載荷基本荷重	100kN×1.3(衝撃係数)×1.2(安全係数)=156kN
・載荷荷重×載荷回数	180.0kN×5.4万回
	200.0kN×26万回
	240.0kN×4万回
	280.0kN×4万回
	320.0kN×4万回
	360.0kN×4万回
	400.0kN×4万回
	440.0kN×4万回
	480.0kN×2.2万回
・試験終了時の供試体の状況	480kN×2.2万回載荷した時点でたわみが大きく増加したため試験を終了
参考文献	
1) 三加, 有川, 鈴鹿, 中積: 端部拡径鉄筋を用いたプレキャストPC床版継手の開発, 第26回プレレストコンクリートの発展に関するシンポジウム, 2017.10	
その他特記事項	